

高齢化の進展を背景とする救急需要の増大に対応し救命率を向上させるため、「救急車の適正利用の推進」や「救急業務の円滑な実施と質の向上」等について検討を行う。

救急車の適正利用の推進

1 救急安心センター事業（＃7119）の全国展開（WG設置）

救急安心センター事業（＃7119）の全国展開を推進するため、実施団体拡大のための方策や医療サイドの費用対効果の把握方法を検討

2 緊急度判定の実施

緊急度を的確に判断し、救急車を緊急性の高い事案に優先して投入するために、119番通報時や救急現場における緊急度判定について、先行事例を踏まえ、普及方策を検討

3 救急隊員の労務管理

救急出動件数の増加に伴い、救急隊員の肉体的・精神的負担が増加しているため、救急隊員の労務管理について、効果的な取組を検討

救急業務の円滑な実施と質の向上

4 応急手当の普及促進

救命率を向上させるため、応急手当の普及促進策や通信指令員による口頭指導の促進等を検討

5 テロ災害等の対応力向上（小会合設置）

テロ災害などの重症な外傷に対応するための新たな資器材について、消防本部で導入するための救急隊員の教育カリキュラム等を検討

その他

6 救急統計の見直し（WG設置）

- ・救急搬送の必要性が低い件数の集計方法と不搬送理由の定義を検討（前年度継続課題）
- ・国際基準を踏まえた救急蘇生統計の改定を検討

7 救急業務に関するフォローアップ

- ・実施基準に関する状況
- ・転院搬送ガイドラインの策定状況
- ・訪日外国人への救急活動の円滑化
- ・指導救命士の認定状況
- ・困難事例への対応（頻回利用、精神科等）

等